

平成 28 年 12 月 15 日

広島市長 様

法 人 名 _____(有)サカコーポレーション
代表者名 坂 聰一郎

以下のとおり報告します。

運営推進会議の開催状況について（報告）

事業所名	グループホーム ガーデンの家				
所在地	広島市安佐南区緑井七丁目 5-11				
担当者名・連絡先	三宅 喜秀	TEL 082-962-6541			
従業者	従業者総数 18 人 (内訳: 常勤 14 人、非常勤 4 人) (H28年12月1日現在)				
うち夜勤の従業者 2 人	1 日当たり事業所全体の勤務従業者数 8 人				
運営推進会議の開催日	H28年12月3日 (平成 28 年度 第 5 回)				
運営推進会議の出席者	所属(団体等)名	職名	氏名		
利用者	ガーデンの家 なんてんユニット	—	本田 ミツ子様		
	小規模多機能センター緑井	—	杉田 幸子様		
利用者の家族	小規模多機能センター緑井・ガーデンの家	—	村尾 奈穂美様		
地域住民の代表者	梅林学区社会福祉協議会	会長	菅原 辰幸様		
	松原福祉会	会長	今井 桂三様		
	ハ敷福祉会	会長	関本 正隆様		
	佐東北地区民生委員児童委員協議会	会長	奈良原 宏様		
地域包括支援センターの職員	城山北・城南 地域包括支援センター	—	月森 慎吾様		
知見を有する者等					
事業所	サカグループ介護部門	代表	坂 聰一郎		
	緑井ガーデンハウス	ホーム長	古川 ひとみ		
	小規模多機能センター緑井	管理者	三宅 喜秀		
	グループホーム ガーデンの家				
	小規模多機能センター緑井	計画作成担当	伊藤 亜由美		
	グループホーム ガーデンの家		工藤 智子		
	緑井ガーデンハウス	地域連携委員	迫田 清文		
	ガーデンの家 ひいらぎユニット	地域連携委員	原田 真由子		
利用状況	利用者総数 18 人 (H28年12月1日現在)				
	要支援1 : 一	要支援2 : 0 人	要介護1 : 4 人		
	要介護3 : 4 人	要介護4 : 1 人	要介護5 : 2 人		
			—		

<p>交流・行事等の実施状況</p> <p>①利用者の家族との交流内容</p> <p>②地域との交流内容</p> <p>③その他の事業 など</p>	<p>(直近約 2か月又は前回報告以降)</p> <p>①利用状況・生活状況について</p> <p><現在の利用状況></p> <p>グループホーム：18名中 18名入居 なんてんユニット：女性 7名、男性 2名 ひいらぎユニット：女性 5名、男性 4名 前回開催時より 退居者・新規入居者 0名、入院者 2名有り (内訳) <ul style="list-style-type: none"> • 10月より女性 1名、男性 1名 • 心疾患 1名。 • 認知症進行による肺炎 1名。 <p><生活での取り組み></p> <p>秋のふれあい会 松原町内会にテントをお借りし大変助かった。 町内会に回覧板を回してもらい多くの子供たちに参加してもらえた。 事業所としてはたこ焼きと車椅子体験や老人疑似体験を行った。</p> <p>紅葉狩り グループホームは土師ダムと寺山公園へ行った。</p> <p>地域行事 宇那木神社や恵美須神社の祭り、公民館のふれあいまつりに参加した。</p> <p>秋の味覚 さんまや施設の畑で撮れたいもを焼いて秋の味覚を楽しんだ。</p> <p>運動の秋 昨年はグループホームと小規模多機能の対抗戦だったが、 今年はグループホームのなんてん、ひいらぎの対抗戦を行った。</p> <p>②消防訓練・餅つき会・ロング恵方巻きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消防訓練のお知らせ <p>日時：12月 15日(木) 14:00～14:30</p> <p>内容：地震発生時の対応を訓練 地震発生後、1階から出火。通報・避難訓練。 水消火器にて消火訓練。 2階の避難器具を職員が体験。 地域の方も参加でき、水消火器や避難器具の体験も可能。</p> </p>
---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・もちつき会のご協力のお願い 日時：12月27日(火) 13:30～15:00 内容：利用者様・家族様・地域の皆様で餅つきを行う。 今回は20升の予定で石臼2個・ガス式の蒸し器も使用。 昨年同様ご協力のお願いをする。 ゆっくり交流できるよう飲み物なども用意し、大人から子供まで楽しめる会を予定。 ・ロング恵方巻き作り 日時：2月3日(金) 10:30 予定 内容：昨年の8.35mからさらに11.65mもしくは16.5mにチャレンジ予定。地域の方も参加可能。 <p>③認知症カフェの進歩について 前回の内容を確認。 目的：認知症の方の居場所作り ガーデンの家ではまずは利用者様家族様の心のケアを含めて行っていきたい。介護をしている人、必要な人が集まり様々な意見を聞く事ができ、悩みや苦労が分かちあえる場にしたいと考えており、まずは利用者様の家族様から始めていく。 名前について認知症がつくとイメージが悪く地域から勧めるのもハードルが高い。「ひるCafe」に決定。ひるは昼間にOPEN、「HILL」(サ力・丘)認知症というものを理解してもらったり協力を仰ぐには乗り越えていかないといけない坂が多いということで明るく可愛いイメージにした。 第1回定期座談会～ひるCafe～ 日時 12月25日(日) 13:30～15:00 テーマ：「Beautiful Life～美しき人生～」 毎回テーマを決めて家族様・職員を交えて意見交換を行う。 ひるCafeの趣旨や頻度、家族会の発足や外部の地域の方の参加についても話し合っていく予定。</p> <p>④グループホームの外部評価について 昨年と同様に第三者機関の広島県シルバーサービス振興会に依頼。 3/22に外部評価を受ける予定。評価の流れは小規模多機能と同じ。</p>
--	---

	次回開催予定：2月4日(土)
苦情の状況	(直近約2か月又は前回報告以降)
事故の状況	(直近約2か月又は前回報告以降)
その他の報告事項	
評価、要望・助言等	<p><認知症カフェについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひるCafeについて認知症となる不安は誰にでもある。 ・かたくすると来にくいから勉強会の前段等ですると来やすいのではないか。 ・勉強会と意見交換が混ざって気軽に来れるようにするとよいのでは。 ・地域としてサロンを作りたいと思っている人は多い。 ・福祉的な所が不足しており、今は健康体操をして定着しつつある。 ・福祉の話も徐々に進めていき、その中で認知症についても話していくこうと思う。 ・来る人数によって職員の人数や役割分担をしていきたい。等など →第1回定期座談会～ひるCafe～ 日時 12月25日(日)13:30～15:00 開催。

※欄が不足する場合など必要に応じ別紙等を添付してください。

平成 28 年 12 月 15 日

広島市長 様

法 人 名 _____(有)サカコーポレーション
代表者名 坂 聰一郎

以下のとおり報告します。

運営推進会議の開催状況について（報告）

事業所名	小規模多機能センター緑井		
所在地	広島市安佐南区緑井七丁目 5-11		
担当者名・連絡先	三宅 喜秀	TEL 082-962-6541	
従業者	従業者総数 14 人 (内訳: 常勤 9 人、非常勤 5 人) (H28年12月1日現在)		
うち夜勤の従業者 1 人	1 日当たり事業所全体の勤務従業者数 7 人		
運営推進会議の開催日	H28年12月3日 (平成 28 年度 第 5 回)		
運営推進会議の出席者	所属(団体等)名	職名	氏名
利用者	ガーデンの家 なんてんユニット	—	本田 ミツ子様
	小規模多機能センター緑井	—	杉田 幸子様
利用者の家族	小規模多機能センター緑井・ガーデンの家	—	村尾 奈穂美様
地域住民の代表者	梅林学区社会福祉協議会	会長	菅原 辰幸様
	松原福祉会	会長	今井 桂三様
	ハ敷福祉会	会長	関本 正隆様
	佐東北地区民生委員児童委員協議会	会長	奈良原 宏様
地域包括支援センターの職員	城山北・城南 地域包括支援センター	—	月森 慎吾様
知見を有する者等	-	—	-
事業所	サカグループ介護部門	代表	坂 聰一郎
	緑井ガーデンハウス	ホーム長	古川 ひとみ
	小規模多機能センター緑井	管理者	三宅 喜秀
	グループホーム ガーデンの家		
	小規模多機能センター緑井	計画作成担当	伊藤 亜由美
	グループホーム ガーデンの家		工藤 智子
	緑井ガーデンハウス	地域連携委員	迫田 清文
	ガーデンの家 ひいらぎユニット	地域連携委員	原田 真由子
利用状況	利用者総数 25 人 (H28年12月1日現在)		
	要支援 1 : 1 人	要支援 2 : 4 人	要介護 1 : 9 人
	要介護 3 : 3 人	要介護 4 : 3 人	要介護 5 : 1 人
			—

<p>交流・行事等の実施状況</p> <p>①利用者の家族との交流内容 ②地域との交流内容 ③その他の事業 など</p>	<p>((直近約 2か月又は前回報告以降)</p> <p>①利用状況・生活状況について <現在の利用状況> 小規模多機能センター緑井：25名中 25名利用 (女性 23名・男性 2名) 前回開催時より 利用停止 0名・新規利用 4名 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> • 脳梗塞で入院。退院後の夫婦 2人暮らしに遠方の家族が不安。 →訪問で調理等を一緒に行いながら生活の安定を図る。 • 家族遠方で認知症状が現れ不安。地域包括に相談し紹介。 →薬の内服管理や役所・銀行・病院の付き添いを行い家族へ報告。 • 要支援だが妻の介護負担が増え家族が心配。 →本人様のやりたいことを継続できるよう支援。 来所時に好きだった一眼レフカメラの撮影に付き添う。 • ガーデンの家の待機者だったが、認知症進み夫婦 2人暮らしが心配。 →通いや泊りを使い、生活リズムを整えることから支援開始。 <p>長期宿泊者(2週間以上)の3名の方の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> • 被害妄想による連泊 →家族と協力し専門医受診。薬調整中。 • 退院後の連泊(骨折後) →骨折後の状態も良好。自宅の状況の確認を行い調整中 • 退院後の連泊(病気療養後) →体力の戻り具合を見ながら、短時間の帰宅から調整中 <p><生活での取り組み></p> <p>秋のふれあい会 松原町内会にテントをお借りし大変助かった。 町内会に回覧板を回してもらい多くの子供たちに参加してもらえた。 事業所としてはたこ焼きと車椅子体験や老人疑似体験を行った。</p> <p>紅葉狩り 土師ダムに行って楽しんだ。</p> <p>地域行事 宇那木神社や恵美須神社の祭り、公民館のふれあいまつりに参加した。</p> </p>
---	---

	<p>秋の味覚</p> <p>さんまや施設の畠で撮れたいもを焼いて秋の味覚を楽しんだ。</p> <p>運動の秋</p> <p>昨年はグループホームと小規模多機能の対抗戦だったが、 今年は体力の向上を図ることを目的として体力測定を行った。</p> <p>○○さん家の味に舌鼓</p> <p>小規模多機能にて毎月利用者様の家庭の味を他の利用者様に 食べていただいている。それにより利用者様の意欲が向上し、 昔の思い出の味を楽しめている。</p> <p>②消防訓練・餅つき会・ロング恵方巻きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消防訓練のお知らせ <p>日時：12月15日(木)14:00～14:30</p> <p>内容：地震発生時の対応を訓練</p> <p>地震発生後、1階から出火。通報・避難訓練。 水消火器にて消火訓練。</p> <p>2階の避難器具を職員が体験。</p> <p>地域の方も参加でき、水消火器や避難器具の体験も可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> • もちつき会のご協力のお願い <p>日時：12月27日(火)13:30～15:00</p> <p>内容：利用者様・家族様・地域の皆様で餅つきを行う。</p> <p>今回は20升の予定で石臼2個・ガス式の蒸し器も使用。 昨年同様ご協力のお願いをする。</p> <p>ゆっくり交流できるよう飲み物なども用意し、大人から子供まで楽しめる会を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロング恵方巻き作り <p>日時：2月3日(金)10:30予定</p> <p>内容：昨年の8.35mからさらに11.65mもしくは16.5mにチャレンジ予定。地域の方も参加可能。</p> <p>③認知症カフェの進捗について</p> <p>前回の内容を確認。</p> <p>目的：認知症の方の居場所作り</p> <p>ガーデンの家ではまずは利用者様家族様の心のケアを含めて行ってい</p>
--	---

きたい。介護をしている人、必要な人が集まり様々な意見を聞く事ができ、悩みや苦労が分かちある場にしたいと考えており、まずは利用者様の家族様から始めていく。

名前について認知症がつくとイメージが悪く地域から勧めるのもハードルが高い。「ひるCafe」に決定。ひるは扈間にOPEN、「HILL」(サ力・丘)認知症というものを理解してもらったり協力を仰ぐには乗り越えていかないといけない坂が多いということで明るく可愛いイメージにした。

第1回定期座談会～ひるCafe～

日時 12月25日(日)13:30～15:00

テーマ：「Beautiful Life～美しき人生～」

毎回テーマを決めて家族様・職員を交えて意見交換を行う。

ひるCafeの趣旨や頻度、家族会の発足や外部の地域の方の参加についても話し合っていく予定。

④小規模多機能センター緑井の外部評価について

・平成28年度外部評価の実施について

小規模多機能型居宅介護事業所は、1年に1回以上、サービスの改善及び質の向上を目的とし、各事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検(自己評価)を行うとともに、当該自己評価結果について、運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価(外部評価)を行うこととする。

目的：①利用者及び家族の安心と満足を図ること。

②ケアサービスの水準を一定以上に維持すること。

③改善点を明確にし、改善に向けた関係者の自発努力と
体制作りを促すこと。

④継続的に評価を行うことを通じて、研修等による自発的ケアの
向上を促す教育的效果をねらうこと。

⑤事業所に対する社会的信頼を高めること。

事業所に向けて期待すること

事業所の問題点や課題点を見つけていくのではなく、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、より質の高いサービスを期待するもの。

外部評価の流れ

①事業所が自己評価の実施

②課題の抽出・改善活動

③ご家族へのアンケート調査

④運営推進会議で公表

	<p>⑤運営推進会議のメンバーで事業所点検(見回り) ⑥外部評価の実施 ⑦課題の抽出・改善 ⑧ホームページなどで公表</p> <p>前回は3つの評価項目しかなく、評価がしにくかったため、今回は具体的な評価のしやすいものにし、一旦持ち帰って評価できるようにする予定。</p>
	次回開催予定：2月4日(土)
苦情の状況	(直近約2か月又は前回報告以降)
事故の状況	(直近約2か月又は前回報告以降)
その他の報告事項	
評価、要望・助言等	<p><認知症カフェについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひるCafeについて認知症ななる不安は誰にでもある。 ・かたくすると来にくいから勉強会の前段等ですると来やすいのではないか。 ・勉強会と意見交換が混ざって気軽に来れるようにするとよいのでは。 ・地域としてサロンを作りたいと思っている人は多い。 ・福祉的な所が不足しており、今は健康体操をして定着しつつある。 ・福祉の話も徐々に進めていき、その内で認知症についても話していくこうと思う。 ・来る人数によって職員の人数や役割分担をしていきたい。等など <p>→第1回定期座談会～ひるCafe～</p> <p>日時 12月25日(日)13:30～15:00 開催。</p>

※欄が不足する場合など必要に応じ別紙等を添付してください。